

Acti-on

■開発環境

Visual Studio(C++)、OpenCV

■コンセプト

日常の何気ない動きに、効果音を加えることによって、新たな「Action」の楽しさを考えていく。
ブラウザとカメラと音を組み合わせて新しい遊びを考えていく。

■概要

ブラウザ上で非文字コミュニケーションの可能性について考えられる場を提供します。
入力装置としてカメラを使用し、そのカメラから受け取った映像の中の行動に対して音や演出を施してから
その映像をリアルタイムで出力することで、アクションの新しい楽しさを生み出します。

○キャッチボール

二つのカメラを使ってキャッチボールをするプログラムです。
カメラに映った人が、出力画面上に表示されたボールを操作でき、
二つの画面間でボールのやり取りをします。

○お絵描き

手の軌跡で絵を描くプログラムです。手を認識することができ、「グー」の形にして動かすと
それが「グー」と認識し、ブラウザ上でその軌跡に線が描かれます。
「パー」の形にすれば軌跡は描かれません。また、円を認識し、手で円を描くと音が鳴ります。

○ジャンプとパンチ

人の動きを認識して、音が鳴るプログラムです。
ジャンプやパンチなどをすると、それに合わせて音が鳴ります。

○時間差の表現

動いている人や物の残像が残り、その残像に対してアプローチすることが出来るプログラムです。
残像が出現すると当たり判定が発生し、それに触れることで残像を消すことが出来ます。

■今後の展望

私たちは、今後のコンピュータへのアプローチの手段として、画像処理は大きな役割を持つと考えており、
本プロジェクトではエンターテインメントツールを製作することでその可能性を示そうと試みています。
今後も画像認識を使った更なるアプローチを開拓し、文字情報に限定されないコンピュータ上での
コミュニケーションの多様化を提案していくたいと考えています。

■メンバー

環境情報学部4年 清水 啓太郎
環境情報学部4年 神前 嘉明
環境情報学部3年 但野 尚希

環境情報学部4年 小北 樹
総合政策学部3年 深井 晴香
環境情報学部2年 小松田 雄大